

代議員会からの変更点

〈第116期総括〉

常任委員会

・最後のブロック会議の議事録への返答について、A104藤原さんからの意見への返答内容が間違っていたため以下の通り修正した。

【誤】

A104藤原：決算表の増築建設局について、支出の14996円は増築建設局の新歓に使われた費用だと思うが、それは116期決算が間に合わなかったため117期に請求されることになったはず。116期増築建設局の支出は0円になるのではないか。

→決算表の通りです。0円にはなりません。

【正】

A104藤原：決算表の増築建設局について、支出の14996円は増築建設局の新歓に使われた費用だと思うが、それは116期決算が間に合わなかったため117期に請求されることになったはず。116期増築建設局の支出は0円になるのではないか。

→ご指摘ありがとうございます。決算表の通り116期増築建設局の支出は0円となっています。

広報局

なし

処分対策推進局(処分局)

なし

国際交流局

なし

地域連帯局

なし

増築建設局

なし

寮外連帯局

なし

文化部

なし

炊事部

A205塩崎 運搬マニュアルが出来た経緯を書いてほしい。(代議員中の問い)

→11月中旬に、寮食が大量に余る日があった。考えられる要因は寮内における大規模な風邪の流行であり、廃棄を防ぐために寮食運搬が提起され、やり方を引き継ぎやすくするためにも寮食運搬マニュアルが炊事部により作られた。

B102田京 1日あたり11分ではなくて11人分では。

→修正しました。

庶務部

なし

厚生部

なし

人権擁護部

なし

情報部

予算案を追加しました

入退寮選考委員会

なし

選挙管理委員会

なし

監察委員会

なし

資料委員会

なし

居住理由判定委員会

なし

〈第117期方針案〉

常任委員会

12/12のブロック会議のA211宮辺の意見に対する返答について

＜議事録とその返答＞

A211宮辺：吉田寮自治会とうまく連携がとれていない理由を赤ヘルという団体が原因としているが、実態のない団体を仮定し原因とするのは現状分析として間違っているのではないか。まず、吉田寮内に赤ヘルという勢力がないので、吉田寮についての部分では「吉田寮生全員と実力闘争していこう」ということ以外書いてないのでは。次に、全体として赤ヘルという存在しないセクトを仮定しているため、文がおかしくなっている。

→赤ヘルに関する記述を訂正しました。確かに実態をもった団体が存在するわけではありません。ノンセクトセクトと言われるようにセクト的な物を排斥するものです。また文章構成も変更する予定ですが、間に合っていない。

＜代議委員会が出た意見＞

赤ヘルに実態はないという点で文責者が一致していることは読み取れるが、実態のない団体を仮定することに対する懸念への返答がない。

＜議事録への返答に以下の補足を追加＞

→「実態」という単語の認識について齟齬があります。

返答の中で使われている「実態がない」というのは団体もしくは組織としての実態がないということを目指し、赤ヘルと俗称されるような思想潮流が吉田寮内に存在していることは事実であると認識しています。

前回ブロック会議A2議事録への返答に対して

＜代議委員会で出た意見＞

熊野寮の価値観の妥当性を主張していることは読み取れるが、吉田寮との関わり方に対する懸念への返答がない。

＜議事録への返答に以下を追加＞

A205北村:1つは明確に自治への侵害と言えるか今自分は判断できないが、何にせよ意思決定に対して影響を与えようとしており、危ういラインではあると感じる。

→そもそも京大四寮は利害を共有する関係にあります。確約一団交体制において一部の自治会が妥協するような方針をとれば学内寮自治全体に影響が及びます。そのため歴史的には負担区分問題等の方針について調整し、全体で方向性を定めるために四寮会議も体制化されてきました。吉田寮方針への働きかけを一概に「侵害」として忌避するのではなく、学内寮自治総体を守るためにも利害関係団体として責任をもって積極的に熊野寮自治会は行動すべきだと考えています。

A205北村:もう1つは、損得勘定の点でも良いとは思えないこと。ロビイングが最大限効果を発揮した場合、吉田寮内部を分裂させ得るが、それは良くないと思うし、それ以前に大した成果を上げることができず熊野寮への嫌悪が増えるのではないかという危惧がある。

→吉田寮の自治への介入に関する不安についてですが、まず吉田寮が現在寮内で一致している方針では自治寮である吉田寮を真に守っていくものではないという問題意識があります。

この状況に対して、吉田寮生全員を熊野寮の方針に獲得することが吉田寮を守り抜くためには必要だと考えます。理想的には、分裂ではなく吉田寮全体を熊野寮の方針に獲得することをめざして働きかけていきます。また、このまま吉田寮が今の方針を取り続けて攻撃に屈してしまうよりは、嫌悪されることになっても熊野寮の方針を吉田寮に提起し、1人でも多くの吉田寮生を獲得するほうが展望があることだと考えます。もちろんそのうえで、熊野寮の方針で吉田寮生全員を獲得することに最大限の努力は尽くしていきます。

広報局

なし

処分対策推進局(処分局)

なし

国際交流局

変更なし

地域連帯局

なし

増築建設局

なし

寮外連帯局

なし

文化部

なし

炊事部

なし

庶務部

なし

厚生部

なし

人権擁護部

なし

情報部

なし

入退寮選考委員会

なし

選挙管理委員会

なし

監察委員会

なし

資料委員会

- ・ A4紙の購入予定枚数が12,500枚から17,500枚に訂正されていなかったのを修正。
- ・ 印刷機積立金の明細が知りたいとの要望があったので追加。

居住理由判定委員会

なし

第116期自治会会計決算

なし

第117期自治会会計予算

- ・「1.一般会計」の「1.1 収入の部」にて、「広報局よりグッズ売り上げを返還」の項を追記。
- ・「1.一般会計」の「1.2 支出の部」にて、「庶務部」の予算を変更。

特別決議案